

1 <震感> 「あー…あー…あー…」

2 <驚きの感覚をもたらした> 「ふふ…ふふふふ…」

3 【皿窓ガラスのSE】

4 <心拍音の感覚> 「えへ、えへ…」

5 「うわわわ…えへ…」

6 【耳のSE】

7 「わいわい…わいわいたの…えへ…」

8 「えいわおゆわ…が起つて…ふあ…」

9 「えへ…おの、震わせ…」

10 「あー…あー…あー…」

11 【震感ドザム】

12 「あー…あー…あー…」

13 「あー…あー…あー…」

14 【鼓膜経週5秒ほど開け】

15 <震感がもたらされた感覚> 「えへ、えへ…」

16 「ふあ…ふあ震た…」

17 「えー、今皿せんごく皿窓のが…」

18 「ぐは…ぐは。」

19 「7盤…22…？」

35 【走るSEとスイカぴっすのSE（マナカでもいい）】

36 「ふうふうふう…発車3分前、間に合った…」

37 「危なかった…」れを逃すと次は20分後だつたから…」

38 「いや～ともあれよかつた、あとは電車で休息を…」

39 【お腹のSE】

40 「んんっ…」

41 「う～朝から走ったからかな、お腹が変な感じ…」

42 「あとは大学に着くまで席でゆっくりしてよつ…」

43 「それにしても語の先生は厳しそう…10分以上の遅刻は欠席

扱いなんて…」

44 「のくせ必修科目だし…まあテストはないのはありがたいけど…」

45 「伸びしてね」「ん～ともかく」の電車に乗れば間に合つたも同然、あとはこのボサボサの髪を直して…」

46 【時間経過5秒ほど開ける】

47 【電車のSE】

48 「んっ、んんっ…」

49 【お腹のSE】

50 「あう…んんっ…」

51 「お、おかしいな……なんかお腹が……んんっ……」

52 「うう……」の感じ、消化とかそっちじゃないよね……」

53 「なんでだうう……心当たりと『ええば、朝飲んだ牛乳とパンへいりし

か……」

54 「一気に飲んだから……いや、飲んだあと走ったから……？」

55 「……あと、よくよく思い出すと昨日買った牛乳とは別の方を飲んだ気が……」

56 「……まづい、心当たりしかない……」

57 「あう……」

58 【お腹のSE】

59 「うう……やらかした、胃は強い方だつたけど流石に無茶したかな……」

60 「んっ、んんっ……」

61 「大学についたらすぐトイレにいこう……授業まで若干の余裕は……んっ……」

62 【お腹のSE】

63 「うううううううう……」

64 「お腹を壊すなんていつ以来だる……確か高校生の……あう……」

65 「くうう……到着まで結構かかるし、これはなかなか辛いなあ……」

66 「はあ…はあ…んんつ…」

【時間経過5秒ほど開ける】

68 「はあ…はあ…」

【お腹のSE】

70 「はぐう…んんつ…」

71 「あ、あれ…なんで、こんな急に…あう…」

72 「違和感を感じてから、また數十分も…こう…」

73 「…つ…いつ…まつ…」

74 「ふう…ふう…んんつ…」

75 「はああ…はあ…ふううう…」

76 「い、いま…じるじるつて…かなり…」

77 「はあ…はあ…この感じ、なんだがすごい嫌な予感がする…」

78 「…ちょっと、ググってみて…」

79 「んつ、んんつ…」

【スマホぽちぽちSE】

80 「牛乳 下す 急に…」

82 「なにに…うつ、やっぱり一気飲んだり直後に走るのはよくない
んだ…」

83 「よみ にゅうとうふたい」「あとは…乳糖不耐…?」

- 84 「大人になつてから牛乳を飲むと、下す場合が……じるよに……」
- 85 「……確かに、昔は何本飲んでも平氣だつたけど、最近は違和感を感じるよに……」
- 86 「あとは当たり前だけど傷んでたりしたら……」
- 87 「……やばいって、これ下す条件のフルコースじゃん……」
- 88 「あう……とかいってたらまたあ……」
- 89 「うう……なんかこれみたら余計に意識しちゃつて……」
- 90 「はあ……はあ……あう……」
- 91 「うう……どうしよう、どんどん悪化してきたし、一旦降りてトイレに……」
- 92 「……けど、ここで降りた瞬間、一限の遅刻が確定、それすなわち単位を落とすことになる……」
- 93 「うう……必修言語を落とすのは正直かなりきつい……ここで落とすと来年一年生と一緒に取る羽目に……」
- 94 「あぐう……けど、お腹を壊したまま電車に乗るのも……万が一を考えると……」
- 95 「うぐうう……私の馬鹿、こういう時のために余裕をもつて出席るべきだったのに……はぐう……」
- 96 【電車がゆっくり止まり始める】

97 「はつ…淝ひつひの考へてゐる間に…」

98 「特急だから、降りるなりこの駅が最後…」

99 「ううう…えいじよ、どいじよ…」

100 【ここから分岐、心の声も追加する。ルートA-1へのまま乗り続
けの】

101 「…いやいや、冷静に考へる私。」

102 「単位かトイレか、別に二者択一なわけじゃない…」

103 「確かに辛いけど、たかが數十分、我慢できないわけじゃ…」

104 「それよりも必修単位を落とす方がまづい、ここは降りずに…」

105 【喋つてゐる間に電車が止まつて動き出す。】

106 「トイレに行つて授業に出る…うん、これで何の問題も…ん
んつ…」

107 ^強がり言い聞かせるように「うう…大丈夫大丈夫、ちょっと
痛みがあるだけで…はう…」

108 「えつ…まつて、こ、これは…」

109 「はあ…はあ…んんつ…ふうう…」

110 「よかつた、すぐにおさまつて…んんつ…」

111 「うう…ひやひやするなあ…」

112 【時間経過5秒ほど開ける】

1-13 「はあ……はあ……」

1-14 【お腹のSE】

1-15 「はぐう……んんつ……んんつ……？」

1-16 「……ひーいっ……ーいべう……ー」

1-17 「ふうう……ふうう……ふうううう……ー」

1-18 (あ、あれ……おかしいな……想定よりも腹痛が……んんつ……ー)

1-19 (さっきまではお腹が痛いくらいだったけど、今はその……)

あう……)

1-20 ^小声 v 「はあ……はあ……油断すると……で、でちやいそうだよ……」

1-21 「あうう……また……」

1-22 ^小声 v 「いっ……くうう……お腹がはって、辛い……ぐうう……」

1-23 【お腹のSE】

1-24 「また……」

1-25 (……特にガスが溜まつてる感じがして……めっちゃおなじした

い……)

1-26 (ううう……出したら楽になる気がするけど……それは気が引けると

ううが……うぐう……)

1-27 (さっきの駅で人も結構乗ってきたし……)

1-28 「はぐう……ー」

1-29 (ひひひ…またあ…)

1-30 「はあ…はあ…」

1-31 (…ちよつとだけ、ほんの少しだけ出しゃべりなさい…)

1-32 (とこつか、もう我慢しても丑うやうひてこつか…)

1-33 「はう…」

1-34 (うつ、き、あた…)

1-35 (少し…少しだけ…)

1-36 <小声> 「じめんなさい…じめんなさい…」

1-37 【お腹のSE】

1-38 「あう…あう…んつ…」

1-39 【すかしょなりSE】

1-40 「…ひーふううう…」

1-41 (よ、よし…音はなんとか…)

1-42 (ちよつとだけ楽に…んんつ…)

1-43 <小声> 「わう少しだけ…」

1-44 「はあ…はあ…」

1-45 <小声> 「あうへり…う…」

1-46 【お腹のSE】

1-47 <小声> 「あつ…まつて…あつ…あつ…」

—48 【おおめのおなりSE】

—49 「~~~~~」

—50 (い、いま...おと、すゞいおとが...)

—51 (やばいやばいやばい、流石に周りの人も今は...)

—52 (知らないふりー知らないふりで...)

—53 「んっ、んっ...」

—54 「...っー」

—55 (うへ、うへ、うへにおじ...わたし...だよね...)

—56 (ひどい匂い...くせつた卵みたいな...)

—57 (小声) 「じめんなさい...ほんとにじめんなさい...」

—58 「んんっ...あう...はあ...はあ...」

—59 (けど、おかげで少しだけ楽に...)

—60 (あとは...なんとか駅まで我慢をして...)

—61 【時間経過4秒ほど開ける】

—62 「はあ...ーはあ...ー」

—63 【お腹SE】

—64 「うぐうう...つう...」

—65 (まづい...そろそろ限界かも...)

—66 (力を抜いたら、いつ漏らしても...)

167 【電車揺れるSE】

168 「ひっ……」

169 「……ひーしあつ……」

170 【おなじSE】

171 ^小声^ 「あっ……やつ……」

172 (ま、また出ちゃって……)

173 (しかも……今、隣の人みり……やうして……)

174 (最悪……恥ずかしすぎるひば……)

175 「あう……」

176 (仮ま下さい……車両を変えたいけど、今立つと……)

177 「はあ……はあ……はぐつ……」

178 (うう……お腹を壊すと、こんなにひどなんて……)

179 「はあ……はあ……」

180 (駅まであと……多分10……いや、8分くらい……?)

181 (大学のトイレなんて壁つてる場合じやない……降りたひすぐ駅の

トイレに……)

182 (……降りてからのシミュレーションをしておひり……)

183 (階段を降りて左側に……もし混んでたら北口の……)

184 【アナウンスSE】

1-85 「……えつ。」

1-86 「アナウンス……？まだ駅には……」

1-87 「しかもいつもの音が……つ……」

1-88 (う、うそ、うそでしょ……)

1-89 (今緊急停止つていった……？聞き間違えじやないよね……？)

1-90 「あつ……どんどん速度が……」

1-91 (なんで……なんでこんな時にかぎつて……！)

1-92 「はぐう……！」

1-93 ^小声^ 「もう……限界なのに……」

1-94 「はあ……はあ……ぐうう……」

1-95 (ううう……慌てるな私……)

1-96 (緊急停止はたまにあるけど大体はすぐに復旧する……)

1-97 (仮に5,6分かかるとしても、ギリギリ我慢はできる……！)

1-98 (逆にこれがきっかけで動搖する方がよくない、割り切つて我慢に集中して……)

1-99 「はあ……はあ……」

2-00 (けど……もし、もし長引いたら……)

2-01 「はぐう……！」

2-02 「……うーへうううううう……」

203～小声～「弱~~坂~~」になるな…大丈夫…絶対大丈夫だから…」

204 【時間経過3秒延び】

205 「ふうう…ふうう…」

206 (ゼ、全然復旧しないじゃんか…)

207 (も「…10分以上経つてるのに…なんで…)

208 【お腹SE】

209 「…うーあつ…」

210 【おならSE】

211 「まつ…あつ…」

212 【おちびりSE】

213 「…うーだめ…」

214 「ふうう…ふうう…くうううううう…」

215 「はあああ…はあああ…つうううう…」

216 (いま…ちょっとだけ、でちゃって…)

217 【お腹SE】

218 「はう…」

219 (ぐうう…また…)

220 「はあ…はあ…」

221 (も、もうむり…これ以上は…全部漏らしちゃう…)

222 (やだ…やだよお…の年にもなつて、お、お漏らしなんて…)

223 (いつもつかう電車で…あつと同じ大学の人もいる中で…)

224 <涙田> 「う…う…う…べゅう…」

225 (ちびつちひやうへりい限界なのに…仮に電車が動いたとしても、
もひ間に合わないよお…)

226 (なにか…なにか方法は…)

227 「あぐう…！」

228 (なんでもいい…お漏らしさえ避けられるならなんでも…)

229 (カバンに…ビニール袋が…)

230 <小声> 「…つーばかつ、そんない」とできるわけ…はう…」

231 <小声> 「うぐうう…けど…」のまま漏らすよりは…」

232 <涙田に葛藤> 「ぐずつ…けど…けど…けど…うぐう…ぐ
ずつ…」

233 【ルートA-1 ピニール袋に排泄】

234 「んんつ…」

235 【お腹のSE】

236 <小声> 「だ、だめ…我慢できあと…数分…」

237 (たとえ今復田したとしても…絶対に…)

238 (だったら…だったら今取れる最善の行動は…)

23のへ涙田へ「ひ...ひ...ぐずひ...ひ...ひ...ひ...ひ...ひ...」

240 「セベウ...」

241 【お腹のSE】

242へ小声×「葛藤する時間あり……もう……」

243 (覚悟……覚悟を決めよう……)

244 「はああ……はああ……」

245 (せめて…せめて人の少ない車両で…)

246 【立ち上がりNSE】

247 「すいせん...んんつ...」

— ۱۴۰۰ میلادی — ۱۴۰۱ میلادی — ۱۴۰۲ میلادی —

249 [参照SE]

250 「前の車両の方が…気持ちすいて…」

251 「はああ……！ はああ……！」

「んんう……でねう……」

253 「はああ……！ はああ……！」

254 「うつ、結構いる」

255 「あう……もう時間がない……なら目立たない連結部分で……

ひう

257 「つううう……だめ……でる……これは……漏れちゃう……」

二五八「……」

259 「……だつ……！」

260 [おがさわSE]

二〇一九年九月二十一日——

262 **【バツクガサガサS四】**

ନାହାନ୍ତିରେ କିମ୍ବା କିମ୍ବା କିମ୍ବା କିମ୍ବା କିମ୍ବା

264 「最悪最悪最悪……なんで……なんでこんなことに……」

265 「はあ！ はあ！ はあ！ はあ！」

「うれしいですね……」

267 (ほ、ほんとに……こんな車内で……今から……)

卷之三

၁၇၀ ၁၇၁ ၁၇၂ ၁၇၃ ၁၇၄ ၁၇၅ ၁၇၆ ၁၇၇ ၁၇၈ ၁၇၉

271 [ズボンを脱ぐSIE]

272へ小声で言い聞かせるべく「漏らすよりはまし……漏らすよりはま

し……漏りすよりはまし……」

273 「はあ！ はあ！ はあ！ はあ！」

274 「ねがつ...つー」

275 (視線…人、みられて…)

276 「… つーあつ… むりもうで… ほんとにでつ…」
「ぐうううううう…」

277 【排泄[SE]】

278 「ふぐうううううう… あつ… ふううううう… ぐあつ…」

279 「ぐううう… でつ… でで… つ…」

280 「うぐううう… ぐめんなやううめんなやう…」

281 「あつううう… ぐううう… ううう… う…」

282 「息を止めではあ… 「…んんん… はああああ…」

はあ… はあ… ふううう…」

283 「やうと… 痛みから… つ…」

284 「う… じめんなやう… もううううううう… あう…」

285 「やう… まだで…」

286 「あう… うんう… うう…」

287 「はあ… はあ…」

288 【排泄[SE終わつ】

289 (まだお腹は痛いけど、ひとつしゃつ…)

290 「… つーにおじが…」

291 「ぐう、縛れば多少は… あつ… 服も早く…」

202 【エリールガサガサ服装のSE】

203 「あらあせん...本物のあらあせん...あらあせん...ぎゅう...」

204 「ハグハ...ねがつておあ...ねがつておあたび...ギュウ...」

205 「私だって...でもなぜいふんだ」と...かず、 1Jの方法しか...ぐ

『あい...』

206 「ドあんなやう...せんじにドあんなやう...」

207 【電車のアナウンス、 電車動くSE】

208 「... うーこあやむ... えあじよ...」

209 (到着まであと10分...)Jの地獄の雰囲気と、 軽蔑の視線に耐え

て...)

300 「ハ、 ハハ... ギュウ...」

301 <小声> 「...お尻が... 気持の悪こよ... ギュウ...」

302 【ルームA-2 Nのああ我慢かわ】

303 <小声> 「せかう... あこなう... ぐわねけ...」

304 (トト)井で囁ねかわになりながらも我慢してあたんだ... -)

305 (だつたり... だつたりあと10分くら... -)

306 「ふうう... ふうう... - 」

307 <軽く聞かせる> 「絶対大丈夫... 我慢... 我慢でやるから... - 」

308 「ふうう... ふうう... - う... - 」

309 【おちびつSE】

310 「ふうう…ふうう…ぐうう…ぎゅう…」

311 (視線を感じる…いや、気にしちゃダメだ、こいつがやたらわいわい

我慢だけに)

312 「ふうう…ふうう…んん…」

313 「くう…うぐうう…」

314 (ちょっと出しゃうのは仕方ない…全部…全部出さなけれ

ば…)

315 「はああ…はああ…うううう…」

316 【電車のアナウンス、電車動くSE】

317 「あ、あたあ…」

318 「これで…あとは、駅まで耐えて…んん…」

319 【おちびり大】

320 「あ…」

321 (とまれ…とまれとまれとまれとまれとまれとまれ…)

322 「ふうう…ふうう…ひう…」

323 【おちびつSE】

324 「ま、だ…止められれば…まだ…ひぐ…」

325 「う、そ…全然おさまんな…あ…」

326 (だ、だめだ…この感覚…もつ一分もしない間に…)

327 (なんとか…何とかする方法は…)

328 「ひう…」

329 (そんなの…あるわけ…)

330 「うぐうう…ぐずつ…ぐずつ…」

331 「だめ…ちから…もう…」

332 「あつ…ぐつ…ぐつ…ぐつ…んつ…」

333 【お漏らじSE】

334 「うぐうううううううううう…ぐずつ…つうううううう…」

335 「やうちや…あつ…われ…ううううううう…」

336 「あつ…あつ…んつ…あううううう…」

337 「むり…とまんなあ…あつ…んつ…うぐううう…ぐずつ…」

338 「はあーはあーんんつ…ううう…はああ、はああ…ん

んつ…」

339 「あつ、ああ、ああああ…」

340 (もう…しちやつた…)

341 (頑張つて…必死に我慢したのに…私…)

342 (いま…ひどい…大変なことに…なつて…)

343 (けど…ショックで…ぐずつ…何も頭にはいって…)

344 【泣こちやつて音痴フハーデトカトシトベ】

345 「びゅあ　…　ひぐり　…　ひ、　ひう　…　びゅあ　…」

346 「ひぐり　…　びゅあ　…　ひ、　ひぐり　…　びゅあ　…　ハグリ　…」

347 「う、　うえええええええん…　びゅあ　…　ひぐり　…　びゅあ　…」

348 【ルートB　透かす車かね。】

349 「あう…　またきた…」

350 「だめだ…　これは一回降りよいひ…」

351 「うう…　一年生の春学期、　じきなり単位を落とすことにになると
せ…」

352 「あう…　来学期からは余裕をもつて出席しよう…」

353 【時間経過3秒ほど開けぬ】

354 「はあ…　はあ…」

355 「うう…　トイレせんせいだ…　？　普段降りない駅だから…」

356 「案内図だと確か…　つえーー。」

357 「配管工事のため一時休止…　えへへ…」

358 「もー、急いでるのに…」

359 「えーと、北口の構外トイレをどう利用くださら…」

360 「うう…　北口とか言われてもわかんないよ、もつとあつねですよ…

とか矢印で…　ま…」

361 「やせこやせこ…じぶん悪化してきた…」

362 「トトが南口だから…」、「反対かあ…」

363 「恭くとお腹に刺激がいて…くわくわ…辛いなあ…」

364 【時間経過3秒ほど開けた】

365 「はあ…はあ…」

366 「あ、あれ…西口に着いたやつた…」

367 「おつかしな…北口ほどいやつて…んん…」

368 「うう…まずつ…一回ねやおぬまで…」

369 「はあ…はあ…んん…ふうう…」

370 「本格的にお腹が…」

371 「うう…単位を捨ててまで降りたのに…うまいかないなあ…」

372 【時間経過3秒ほど開けた】

373 「はあ…はあ…」

374 「北口…よ、よし…あつてゐ…」

375 「うう…方向音痴には辛い道のりだった…」

376 「んん…卑くトイレに…」

377 「はあ…はあ…はあ…はあ…」

378 「はあ…はあ…うつ…」

379 「うわあ…結構並んでる…」

380 「うう…薄々予感はしてた…大きめの駅で、一方のトイレが使えないとなると…」

381 「んんつ…くううう…」

382 「正直かなり辛いし、この列を並ぶのは…」

383 「10…いや、15分は…はう…」

384 「ぐううう…」の感じで我慢できるかなあ…」

385 「…これに並ぶくらいだったら、近くのコンビニとかに行つた方が…」

386 「来えてるからすぐにつかだるう…正直下してるから一人用の個室の方が…」

387 「う~、どうしようかなあ…」

388 【ルートB-1 そのまま並ぶ】

389 「いやあ…流石に並んだ方がいいかあ…」

390 「土地勘もないし、素直に待つか…」

391 「んんつ…」

392 「はあ…はあ…んんつ…」

393 【時間経過3秒ほど開ける】

394 「う、んんつ…」

395 【お腹のSE】

396 「うぐう……んんう……」

397 「はあ……はあ……」

398 (が、かなり……あらわな……)

399 (あの時降りてて本当によかつた……もしあのまま乗り続けたらと

思ひと……)

400 「んっ、んんっ……」

401 (それにしても進むのが遅いな……個室の数が少ないとか……?)

402 「…んっーんんっ……」

403 (ううう……お腹がズキズキする……)

404 (人田もあるし……なるべく平然を保つて……)

405 「はあ……はあ……」

406 「んっ、んんっ……はう……」

407 「いっ……なみ……が……」

408 (落ち着け……呼吸……呼吸を整えて……)

409 「ふううう……ふううう……ふうううう……んんっー

410 【お腹SE】

411 「あっ……まつて……もつ……」

412 【おなうSE】

413 「くくーーー……だめっーーー」

4-1-4 [手で抑えるよつなSEI]

4-5 「ぐううう……でる、なんんつ……」

417 「あ、あぶな……かつた……あつ。」

418

419 (しまつ 今まで、周りに)

420へ何事もなかつたような様子を出す／ んつ、んんつ…」

421 (よりもよつて、あんな恥ずかしい姿と声を…)

422 (ぐうう……けど手で抑えないと、も、漏れちゃいそうだつた

し
:

423 (ううはずかしい……ほんとに恥ずかしい……)

424 はあ はあ うう 一

425 一 つ 一 また 一

426 (おさえたいけど、人目が)

427 ひう

428 (け、けど)

430 【手で扱えるSE】

431 「んんつ……はあ……はあ……

432 (死ぬほどはすかしい…多分今までの人生の中で一番恥ずかしい…)

433 「はああ…はああ…」

434 (けど、抑えてると、少しだけ楽に…)

435 「はう…」

436 「う、うそ…」

437 (な、なんか…どんどん悪化して…)

438 (まつてよ…このままだと、下手したら間に合わないんじゃ…)

439 「ひう…」

440 【お腹のSE】

441 「まずつ…ーんんつ…」

442 「はあ…ーはあ…ーはあ…ーはあ…ー」

443 (やばい…やばいやばいやばいやばいやばい…恥ずかしいとか考える場

合じやない…ー)

444 (みつともなくとも…中腰で…少しでも楽な体勢に…)

445 「ふうう…ーふうう…ー」

446 (この感じだと…正面につまでもつか予想が…)

447 「んんつ…ー」

448 (うそでしょ…牛乳を飲んだだけで…こんな…こんな…)

449 「はああ……はああ……えつ。」

450 「あっ……わ、私ですか……？」

451 「順番を……ほーほんとですか……！」

452 「あっ、じめんなさい、声が……」

453 「ありがとつじやこます……お願い……します……」

454 （はずがし……そんな……そんな限界そうに見えたのかな……）

455 （うう……今田で一年分くらいの恥をかいたきがする……）

456 「はあ……はあ……」

457 【ちよつとだけ前に歩くSE】

458 （けど本当に助かった……あと一人だつたら流石に……）

459 <小声> 「よひやく……よひやく……ひり……」

460 【お腹のSE】

461 「えつ……つも、なんで……」

462 （トイレを意識したから?急に、腹痛が……）

463 「んんつ……」

464 【おなじSE】

465 「いっ……でっ……」

466 （だめ、だめだめだめだめだめ……まだかれて間に合わないなん
てんなー）

467 「くうへんつ...」

468 (みつともなくていい……とにかく、なんとしても我慢を……！)

470 (早へ…早へ早へ早へ早へ早へ早へ早へ早へ…)

471 【ドアが開くSE】

472 「つーひらいひー」

473

474 「んん~! は~! は~りま~す! 」

475 駆け込む、ドアバターン！カバンぽい！
【S】

476 第三章 中国古典文学名著

477 [ESを0.1秒強定]

「ハサウエイの娘」などと云ふ。

179

卷之三

481 [洋辭SIE]

482へ後半開放感と安堵▽ 「あ、ああああああ

ああああああああああああ
⋮

483 「か、間一髪……あううう……」

484 「んんっ……！」うう……はああああああああ……」

4885 「よかつた…まにあつてほんとに…つー」
「…」

4867 小声 「しまつ…全部声に…んんつ…」

487 「うぐう…ぱずう…んんつ…」

488 「はう…んんつ…うう…はああああ…」

489 「はあ…はあ…んつ…ふうう…ふうう…ふううううう…」

490 「はあ…はあ…んんつ…はあ…」

491 「めつちやでた…しかもお、おともすゞい…」

492 「けど間に合つてよかつた…ほんとによかつた…」

493 (色々恥もかいたけど…まにあつて…ほんとによかつた…)

494 (…いや、ほんつつとまにあつてよかつた…もひれしか出で
「…」)

「…」

495 「あう…」

496 (まだお腹が痛い…今日は大事をとつて、このまま家に帰る

「…」

497 「んつ、んんつ…」

498 (…いや、それにしても間に合つて本当によかつた…)

499 (よかつた…ほんとくくによかつた…)

500 (声をかけてくれたお姉さん…ほんとくくくくくにあり
がとうござります…)

50-1 【ルートb-2 他のマイレを隠す】

50-2 「口ハドーとかで借りようかな…」

50-3 「んんっ…わざわざ辛かつたけど、今はお腹も落ち着いてる

し…」

50-4 「これだけ栄えてるなら別で探す方が…うん、もうしょ。」

50-5 【時間経過3秒せど】

50-6 【口ハドー入店SE】

50-7 「ふう～すゞ口ハドーが見つかってよかったです…」

50-8 「お手洗いは…あれ？」

50-9 「大体奥の方にあるはずなんだけど…ん？」

51-0 「張り紙…えつ…」

51-1 「防犯の関係上トヤレの貸出は…そ、そんな…」

51-2 「あう…でもねと懇つてたから…」

51-3 「駅付近だからなのかな…小さめの店舗だし、別の口ハドー
で…」

51-4 「んんっ…あよひと懇意で…」

51-5 【時間経過3秒せど】

51-6 「はあ…一はあ…」

51-7 「ついた…大きめの口ハドーだし、今度「」や…」

「禁書買付中止…？」

「……なんで……」なのに……はう……」

520 1...0-#కు 1...-1

521 【おなりSE】

523 「はあ……はあ……んんつ……ふううう……」

526 「ハハハ……これはやらかしたなあ……」

527 【時間経過3秒ほど】

528 「ふうう……ふうう……」

「うう……んんう……」

530 【おかげSE】

「つうう……だめ……で、でちやう

「最悪……早くトイレスに……」

535 「流石に、このビルなら…」

536 〔...〕^o

537 「関係者以外…立ち入り…禁止…」

538 「… うーーーー、オフィスビルだ…！」

539 「ぐううう…見た目が紛らわしいって、こんなのお店とかと勘違
いして…ひつ…！」

540 【お腹のSE】

541 「も、もひ…」

542 「ごめんなさい…緊急事態だから…トイレだけ…」

543 「か、かーど、きー」

544 「う、うう…ううう…ぎゅう…」

545 「なんで…なんでこんなに…んんつ…！」

546 「他の…他のトイレを…」

547 「どこのでもいい…お店…トイレが借りられる…」

548 「はあ…はあ…」

549 「飲食店…あつ、まだ開店してない…」

550 「ううう…こんなに来てるのに…なんでトイレが…ん

んつ…！」

551 「なみ…が…」

552 「はあ…はあ…はあ…ひつ…！」

553 【お腹のSE】

554 「ぐうう……やばい……がつ……我慢しないと……」

555
Digitized by srujanika@gmail.com

556 【おがさわSE】

「むり……耐えるので精一杯なのに、ここからまた探すなんて…」

557 【おがわSE】

「ああ……あた……」

ベテル

563 **【ESCEひ論】**

15. 4. 1974. କାଳିକାରେ ... କାଳିକାରେ ... କାଳିକାରେ ... କାଳିକାରେ ...

ମହାରାଜା ରାଜାର ମହାରାଜାର ମହାରାଜାର ମହାରାଜାର

5章の【#からSΕMにかかる時間】

570 「……でちや……つた……ぐさひ……」

571 「だって……どこのつても……ないから……」

572 「ううかり……どひじよめ……ひぐわ……」

573 「ううう……まだ……でね……」

574 「……わひやだ、わひやだよお……」

575 「ぐすつ……ひぐつ……つ、うつ……ぐすつ……」

576 「ひぐう……ぐすつ……う、うぐう……ぐすつ……」

577 「うぐううううう……ぐすつ……うぐう……うぐう……」

578 【ヒピローグ】

579 へ落ち込み氣味に「……おはよ～」

580 「……うん、昨日はちよつと、本当に体調を崩しちやつて……」

581 (……嘘ではない、とこうか本当に)とは絶対に言えない……)

582 「ううう……れで五回欠席だから、一限の単位は……えつー?」

583 「出席しといたつて……あの授業力アーデじやなくて、声で出席する
タイプじやん、どひやつて……」

584 「……声真似!? それで本当にいけたのー?」

585 「そ、そっか、先生も全員の声と顔が一致してゐわけじや……」

586 「ううーーまりーーーありがどーーー!」

587 「そんな」と思いついても普通実行できないよーありがとーほん
とーありがとー

「...」
「...」

【幅幅】

「...」

「...」

「...」

「...」

【幅幅】

「...」